

どんな言葉をかけますか？

ねらい

日常生活の中における、人権が守られたり侵害されたりしている言葉かけについて考える活動をとおして、子どもの人権を守る言葉かけや、相手の人権を尊重する関わり方について考えます。

◇時間◇	40分	◇人数◇	1グループ4～6人（偶数が望ましい）
◇準備物◇	ワークシート①②、ストップウォッチ		

展開

1 「自分が何かに取り組んでいる（いた）時にかかるとうれしい言葉」について発表する。

（例）・料理を作ったら、「おいしいよ、ありがとう。」と言われた。

・子どもの頃、「授業参観、大きな声で発表できたね。」と親から言われた。

2 ワークシート①を使い、「2つのささやき (DEVIL or ANGEL)」を行う。

【やり方】

- ① グループの中で2人組を作る。
（3人組になってしまうところは、1人と2人組とで役割を分担してもらう）
- ② 一方の人が椅子に座り、目を閉じて、ささやきに耳を傾ける。
- ③ もう一方の人は背後（いろいろな方向）から感情を込めてささやきかける。
・最初は、DEVIL（デビル）の言葉をささやく。（50秒間）
・次に、ANGEL（エンジェル）の言葉をささやく。（1分間）
- ④ 役割を交代し、同じ順序で繰り返す。
- ⑤ それぞれの言葉をささやかれた時の気持ちや、ささやいている時の気持ちを発表し合う。

※ ワークシート①の空いているところには、書かれていないささやきを書き加えてもよい。

3 ワークシート②に考えを記入し、グループで発表する。

（例）・もう繰り返さないよう気を付けてね。洗い方を教えるから、一緒にやろう。

・うまくいかないようだけど、気になっているところはある？今日の練習のあと、ちょっと個人練習してみようか。

4 活動についてふりかえりをする。

ファシリテーターの言葉かけ例

展開1 今日は「言葉かけ」から人権を考えようと思います。まず始めに、みなさんご自身が何かに取り組んでいる時に向けられるとうれしい言葉を思い浮かべてください。どのようなことに取り組んでいる場面なのかは、お任せします。実際に経験されたことがある方は、そのことを発表してください。

では、グループで発表し合いましょう。

展開2 これから、「2つのささやき」という活動を行います。ワークシート①を見てください。まず、グループの中で、隣同士で2人組を作り、どちらが最初にささやくかを決めてください。決まりましたら、ささやく人は相手の後ろに立ってください。

「2つのささやき」と書かれたワークシートには、左側にはDEVIL（デビル）のささやき、右にはANGEL（エンジェル）のささやきが書いてあります。最初にささやく人は、まず始めにデビルのささやきを相手の耳元で、いろいろな方向から、私の合図があるまでささやき続けてください。表の一番下までいきましたら、また上に戻って繰り返します。ささやく時は、できるだけ感情を込めましょう。聞く人は、目を閉じて聞くようにしてください。では始めます。（50秒で終わりの合図）

では次に、エンジェルの言葉をささやき続けてください。デビルの時と同じように、合図があるまで感情を込めてささやき続けてください。聞く人は、先ほどと同じように、目を閉じて聞きます。ではどうぞ。（1分間で終わりの合図）

今度は役割を交代します。今聞いていた人は、相手の後ろに立ってささやきます。ささやいていた人は、今度は椅子に座って聞き役になります。（役割交代を確認したら）では、先ほどと同じように行います。まずはデビルのささやきからお願いします。（同様にエンジェルのささやきも行う）

お疲れ様でした。席に座ってください。「2つのささやき」から受けた感想をグループで話し合いましょう。（しばらくしてから）デビルとエンジェル、それぞれの時間についてはどう感じましたか？実はデビルの時はエンジェルよりも時間を短くって合図を送りました。時間のことも含めて、感想を話し合ってください。

展開3 ワークシート②「言葉かけを変えてみたら…」を見てください。2つの場面での大人の言葉かけを直していただきます。子どもの気持ちに寄り添ったり、子どもの心に思いをはせたりして、子どもの人権を守る言葉かけに直してみましよう。

（3～5分たってから）記入した言葉かけについて、グループで発表し合いましょう。その際、考えたことについても発表してください。全員の発表が終わりましたら、活動に取り組んだ感想やグループの方の意見を聞いて感じたことなどを話し合ってください。もし、ほかの方の話を聞きながら別の言葉かけが思い浮かんだ時は、ぜひそれも発表してみてください。（数名に発表してもらい、全体で共有する）

展開4 今日は、言葉かけをとおして子どもの人権について考えてきました。最後に、活動のふりかえりをします。今日の活動をとおして考えたことや感じたことをワークシートに記入しましょう。

記入したふりかえりについて、グループで発表し合い、考えを共有しましょう。

人権は、私たち大人はもちろん、子どもたち一人一人にも保障された、かけがえのないものです。そして、子どもの人権を守るために、自治体によっては子ども条例等を策定しているところがあります。今日の活動を生かして、子どもたちの人権を守る社会づくりがより一層広がっていくといいですね。

2つのささやき (DEVIL or ANGEL)

DEVIL (デビル)

子どものくせに！

いい加減にきなさい！

何でいつもそうなんだ！

どこかへ行っちゃえ！

無理！できっこないよ！

大人の言うことを聞きなさい！

〇〇（女・男）のくせに！

もう知らないから！

あの子と遊ぶのはやめなさい！

そんな子に育てた覚えはない！

勝手にきなさい！

おまえなんかいなければよかった！

何やってもダメだな！



ANGEL (エンジェル)

頑張っているね！

すばらしい！

よくやったね！

その調子！

応援しているよ！

さすがだね！

だいじょうぶだよ！

いいんだよ！

ありがとう！

いつも見守っているよ！

いい友達をもったね！

あなたはあなたでいいんだよ！



【やり方】

- ① 2人組を作ります。
- ② 一方の人が椅子に座り、目を閉じて、ささやきに耳を傾けます。
- ③ もう一方の人は背後（いろいろな方向）から感情を込めてささやきかけます。
 - ・最初は、DEVIL（デビル）の言葉をささやきます。※表の言葉を上から順にささやき、下までいったらまた上に戻ります。合図があるまでささやき続けます。
 - ・次に、ANGEL（エンジェル）の言葉をささやきます。
- ④ 役割を交代して同じ順序で繰り返します。

「言葉かけを変えてみたら…」

それぞれの場面における大人の言葉を、子どもの心に寄り添った言葉に変えましょう。

【場面1】

小学3年生の我が子。学校の書写の時間に自分の墨をこぼしてしまい、墨を服につけて帰ってきました。これまでも2度ほど同じようなことがあります…

「何でいつもそうなの！もう知らないから！自分できれいに洗いなさい！」



【場面2】

あるスポーツクラブでの練習風景。チームプレーの練習をしているようですが、何度もミスを繰り返している子がいます。その子に対して指導者が…

「いい加減にしろ！何で言ったことをやらないんだ！何やってもダメだな！」



どのようなことを心掛けたり、実行したりすると子どもの人権を守ることができるでしょうか。活動をとおして考えたことや感じたことを生かして書いてみましょう。